

# 序章 調査の概要

## (1) 調査の目的

本市では、平成 24 年度にすべての人の人権が尊重される豊かな社会づくりをめざした「人権教育・啓発に関する豊川市行動計画」を策定し、令和 3 年度末で 10 年間の期間満了となることから、令和 3 年度に新たな行動計画の策定を予定しています。本調査は、市民に人権に関する意識調査を行い、策定の際の基礎資料とすることを目的としています。

## (2) 調査の方法と実施結果

調査対象は、豊川市にお住いの 18 歳以上の市民の中から無作為に抽出した 2,000 名としました。調査票は、郵送による配布・回収を行い、令和 2 年 9 月 11 日から 9 月 30 日までを調査期間として実施しました。

配布数 2,000 票に対し回収数は 1,288 票、回収率は 64.4%でした。このうち無効票（全く回答のないもの等）が 1 票あり、有効回答数は 1,287 票、有効回答率は 64.4%となりました。

なお、今回の調査も前回と同様にお礼兼促葉書を郵送しております。前回の平成 29 年度調査よりも回収率が高くなりました。

表 0-1 配布・回収結果

調査対象	豊川市在住の 18 歳以上の市民
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査時間	令和 2 年 9 月
配布数	2,000 票
回収数	1,288 票
回収率	64.4%
無効票数	1 票
有効回収数	1,287 票
有効回収率	64.4%

## (3) 調査結果の表示方法

- グラフは、帯グラフ、横棒グラフ、縦棒グラフ（カラースケール）の 3 種類を必要に応じて使い分けています。具体的には、単数回答の単純集計、クロス集計結果には帯グラフを使用し、複数回答の単純集計結果には横棒グラフ、複数回答のクロス集計には縦棒グラフ（カラースケール）を使用しています。
- 図中の構成比（%）は、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため、複数回答はもちろんのこと、単数回答の場合でも必ずしも合計は 100.0% になりません。
- グラフ内の「n=〇〇」は、その回答母数を表しています。
- 表、グラフ等の見出しの選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものがあります。